

2022. 5.13

 **センコーグループホールディングス株式会社**

2022年3月期決算の概要
2023年3月期通期業績予想
新中期経営計画

今回発表のポイント



(1) 2022年3月期実績について

- ・ 19期連続増収、13期連続経常増益。 (507億円増収、38.8億円経常増益)
- ・ 公表対比では、19億円減収、4.3億円営業減益、5.0億円経常増益。
- ・ 期末配当を予想15円から2円増配の17円に修正。(年間34円)

(2) 2023年3月期業績予想について

- ・ 通期、売上高7,000億円、営業利益267億円、経常利益270億円を計画。
(769億円増収、19.3億円営業増益、9.0億円経常増益)
- ・ 配当は第2四半期末17円、期末17円、年間34円の予定。

(3) 新中期経営計画について

- ・ 「事業の深化と創出を通じて、人と社会に新しい価値を届け、持続的な成長を目指す」を基本方針として、売上高1兆円、営業利益450億円を目標とする。

第1部
2022年3月期
決算の概要について

1. 2022年3月期 業績の概要



(百万円, %)

(参考)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比		増減額			
	(前期)	利益率	(当期)	利益率	増減額	増減率	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
売上高	572,405	—	623,139	—	50,733	8.9	14,771	12,541	13,533	9,888
営業利益	21,516	3.8	24,771	4.0	3,254	15.1	1,863	200	893	298
経常利益	22,227	3.9	26,103	4.2	3,876	17.4	2,183	13	1,180	500
親会社株主に帰属する当期純利益	14,249	2.5	15,233	2.4	984	6.9	1,081	147	△ 177	△ 67

2. 2022年3月期 業績の概要【売上高】

SENKO

前年同期比 507 億円 増収 8.9% 増

● 売上拡大効果	+	301 億円
● M&A	+	554 億円
● 料金・価格改定	+	9 億円
● 既存物量増減	+	92 億円
● 収益認識基準適用影響	△	449 億円

3. 2022年3月期 業績の概要【利益】

SENKO

前年同期比 経常利益 38.8 億円 増益 17.4%増

● 売上拡大効果	+	33.8 億円		
● コスト改善・生産性向上	+	26.7 億円		
● 料金・価格改定	+	8.9 億円	⇒	+86.9 億円
● M&A	+	4.6 億円		
● 既存物量増減	+	12.9 億円		
● 燃料単価影響	△	23.7 億円		
● 経費復元	△	6.7 億円		
● ベア影響	△	6.2 億円	⇒	△54.4 億円
● 傭車（含む作業賃）コスト増加	△	5.5 億円		
● その他コスト増減	△	12.3 億円		
● 営業利益			⇒	+32.5 億円
● 営業外収支			⇒	+6.3 億円
● 経常利益			⇒	+38.8 億円

4. 2022年3月期 分野別売上高の概要



(億円, %)

	2021年3月期 (前期)	2022年3月期 (当期)	前年同期比		前年同期比 内訳					
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A	収益認識 基準適用 影響	物量増減 他	
物 流 事 業	食 品 物 流	773	822	50	6.4	29		9	-	11
	チェーンストア物流	799	837	38	4.8	47	2	-	-	△ 10
	ファッション物流	478	495	17	3.5	31		-	-	△ 15
	そ の 他 物 流	238	400	162	68.3	23	1	155	△ 45	29
	流通ロジスティクス	2,287	2,554	267	11.7	130	2	164	△ 45	15
	住 宅 物 流	583	618	35	6.0	28	3	-	-	4
	ケ ミ カ ル 物 流	735	859	124	16.9	36	3	46	2	37
	そ の 他 物 流	269	295	26	9.7	20		4	-	2
物 流 事 業	3,874	4,325	452	11.7	215	9	214	△ 43	57	
商 事 ・ 貿 易 事 業	1,618	1,530	△ 88	△ 5.4	62	-	193	△ 396	53	
そ の 他 事 業	232	376	143	61.6	24	-	148	△ 10	△ 19	
合 計	5,724	6,231	507	8.9	301	9	554	△ 449	92	

※上記に含む国際関係売上

国 際 関 係 売 上	物 流 事 業	252	464	211	83.7
	商 事 ・ 貿 易 事 業	279	323	44	16.0
国 際 関 係 売 上		531	787	256	48.1
売 上 高 構 成 比 (%)		9.3%	12.6%		

※顧客ならびに新規連結会社の業容を再精査し、分類先を見直しております。

5. 2022年3月期 セグメント別業績の概要（1）



（1）物流事業

（百万円，%，PT）（参考）

	2021年3月期 （前期）	2022年3月期 （当期）	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	387,350	432,538	45,188	11.7
営業利益	19,398	23,013	3,615	18.6
営業利益率	5.0	5.3	0.3	-

増減額			
4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
10,959	9,512	13,451	11,266
2,087	236	635	657

▼主な増減要因

（億円）

	売上高	営業利益
売上拡大効果	215	28.3
M&A	214	5.5
既存物量増減	57	17.5
コスト改善・生産性向上		23.0
燃料単価差影響		△ 23.7
その他	△ 34	△ 14.4
計	452	36.2

燃料価格の上昇の影響などがありましたが、前年同期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大きく減少した物量の回復が見られる中、拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、M & A の収益寄与があったことなどにより、増収増益。

6. 2022年3月期 セグメント別業績の概要（2）



（2）商事・貿易事業

（百万円，%，PT）（参考）

	2021年3月期 （前期）	2022年3月期 （当期）	前年同期比		増減額			
			増減額	増減率	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
売上高	161,820	153,049	△ 8,770	△ 5.4	△ 1,081	△ 1,443	△ 4,528	△ 1,718
営業利益	3,035	2,905	△ 130	△ 4.3	△ 38	△ 51	△ 22	△ 19
営業利益率	1.9	1.9		-				

▼主な増減要因

（億円）

	売上高	営業利益
M&A	193	3.1
収益認識基準適用影響	△ 396	
既存増減	54	△ 4.7
売上拡大他	61	0.3
計	△ 88	△ 1.3

4月に家庭紙卸売のアズフィット株式会社を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善に努めましたが、収益認識会計基準等の適用影響、燃料販売における仕入価格の上昇などにより、減収減益。

7. 2022年3月期 セグメント別業績の概要（3）



（3）その他事業

（百万円，%，PT）（参考）

	2021年3月期 （前期）	2022年3月期 （当期）	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	23,235	37,550	14,315	61.6
営業利益	△ 61	99	161	-
営業利益率	△ 0.3	0.3	0.5	-

増減額			
4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
4,893	4,471	4,611	340
△ 68	△ 12	456	△ 215

▼主な増減要因

（億円）

	売上高	営業利益
M&A	148	△ 4.0
コロナ影響関連	7	3.8
コスト改善・生産性向上		1.1
その他	△ 12	0.7
計	143	1.6

2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内株式会社を連結子会社化し、拡販ならびにコスト改善などに努めたことにより、増収増益。

8. 2022年3月期 業績の概要【対計画】



(百万円, %)

	2022年3月期		2022年3月期		計画比	
	(計画)	利益率	(実績)	利益率	増減額	増減率
売上高	625,000	—	623,139	—	△ 1,861	△ 0.3
営業利益	25,200	4.0	24,771	4.0	△ 429	△ 1.7
経常利益	25,600	4.1	26,103	4.2	503	2.0
親会社株主に帰属する当期純利益	14,800	2.4	15,233	2.4	433	2.9

9. セグメント別業績の概要【対計画】



(百万円, %, PT)

		2022年3月期 (計画)	2022年3月期 (実績)	計画比	
				増減額	増減率
物流事業	売上高	427,660	432,538	4,878	1.1
	営業利益	22,810	23,013	203	0.9
	営業利益率	5.3	5.3		
商事・貿易事業	売上高	158,060	153,049	△ 5,011	△ 3.2
	営業利益	3,060	2,905	△ 155	△ 5.1
	営業利益率	1.9	1.9		
その他事業	売上高	39,280	37,550	△ 1,730	△ 4.4
	営業利益	240	99	△ 141	△ 58.8
	営業利益率	0.6	0.3	△ 0.3	

10. 2022年3月期 連結貸借対照表



(億円)

資産の部			負債・純資産の部			
当期	増減	摘要	当期	増減	摘要	
流動資産合計			流動負債合計			
1,710.3	71.4		1,376.5	39.3		
現金及び預金	△ 74.4		支払手形及び営業未払金	62.9		
受取手形営業未収入金及び契約資産	92.0		1年内償還予定の社債	△ 70.9		
電子記録債権	10.2		1年内償還予定の転換社債	△ 100.1		
商品及び製品	11.9		短期借入金	143.0		
その他	31.6		その他	4.4		
固定資産合計			固定負債合計			
3,094.5	372.8		1,821.8	242.4		
有形固定資産※		※主な設備投資 岐阜羽島PDセンター 泉南PDセンター さいたまPDセンター 湾岸弥富PDセンター	社債	99.8		
建物及び構築物	108.9		長期借入金	118.6		
土地	86.8		長期リース債務	10.9		
その他	25.0		繰延税金負債	13.2		
無形固定資産	57.1		その他	17.1		
投資その他の資産			負債合計	3,198.3	298.8	
投資有価証券	5.6		純資産合計	1,606.6	145.4	※自己資本比率 (前期末) 30.9% (当期末) 30.6%
退職給付に係る資産	22.3		資本金	284.8	19.2	
差入保証金	13.0		資本剰余金	315.5	17.4	
その他	53.9		利益剰余金	917.4	105.3	
		自己株式	△ 81.6	△ 35.2		
繰延資産合計			非支配株主持分他	170.5	38.8	
0.0	0.0		負債及び純資産合計			
資産合計			4,804.9			
4,804.9	444.2		4,804.9			

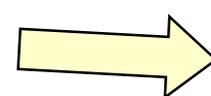
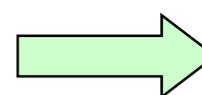
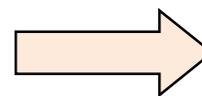
有利子負債	1,851.9	190.0	※ネットD/Eレシオ
			(前期末) 0.84倍
			(当期末) 0.95倍

1 1. 2022年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書



(億円)

	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	318.6	318.9
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 463.1	△ 461.4
財務活動による キャッシュ・フロー	367.6	57.7
現金及び現金同等物 の期末残高	503.7	421.9



当期の主な内容

税金等調整前当期純利益	247.8
減価償却費	198.2
売上債権の増加	△ 51.2
未払債務の増加	36.5
法人税等の支払額 等	△ 93.2

有形固定資産の取得	△ 303.1
関係会社出資金の払込	△ 56.7
子会社株式の取得 等	△ 88.4

借入金の増加	232.0
リース債務の返済	△ 53.6
社債の発行	100.0
社債の償還	△ 132.3
自己株式の取得	△ 36.3
配当金の支払 等	△ 47.0

第2部

2023年3月期 通期業績予想

1. 2023年3月期 業績予想【通期】



(百万円, %)

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
	(実績)	利益率	(計画)	利益率	増減額	増減率
売上高	623,139	—	700,000	—	76,861	12.3
営業利益	24,771	4.0	26,700	3.8	1,929	7.8
経常利益	26,103	4.2	27,000	3.9	897	3.4
親会社株主に帰属する当期純利益	15,233	2.4	16,000	2.3	767	5.0

2. 2023年3月期 業績予想【上期：下期】



(百万円, %)

	2023年3月期				前年同期比			
	上期		下期		上期		下期	
	(計画)	利益率	(計画)	利益率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	337,000	—	363,000	—	36,238	12.0	40,623	12.6
営業利益	12,500	3.7	14,200	3.9	795	6.8	1,134	8.7
経常利益	12,600	3.7	14,400	4.0	636	5.3	261	1.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,500	2.2	8,500	2.3	545	7.8	222	2.7

3. 2023年3月期 業績予想 業績の概要【売上高】



前年同期比 769億円 増収 12.3%増

● 売上拡大効果	+	303億円
● M&A	+	367億円
● 料金・価格改定	+	10億円
● 既存物量増減	+	89億円

4. 2023年3月期 業績予想 業績の概要【利益】

SENKO

前年同期比 経常利益 9.0 億円 増益 3.4 %増

● 売上拡大効果	+	36.1 億円		
● 料金・価格改定	+	9.9 億円		
● コスト改善・生産性向上	+	8.8 億円	➡	+66.8 億円
● M&A	+	4.1 億円		
● 既存物量増減	+	7.9 億円		
<hr/>				
● ベア・人事制度改革影響	△	15.2 億円		
● 燃料単価影響	△	8.7 億円	➡	△47.5 億円
● 経費復元	△	7.4 億円		
● 傭車（含む作業賃）コスト増加	△	4.8 億円		
● その他コスト増減	△	11.4 億円		
<hr/>				
● 営業利益			➡	+19.3 億円
<hr/>				
● 営業外収支			➡	△10.3 億円
<hr/>				
● 経常利益			➡	+9.0 億円

5. 本年度稼働の物流センター①

SENKO

2022年度

泉南PDセンター

所在地	大阪府泉南市
稼働日	2022年3月
延床面積	33,955 m ² (自社開発)
取扱品例	アパレルメーカー様 他



さいたまPDセンター

所在地	埼玉県さいたま市
稼働日	2022年4月
延床面積	27,047 m ² (自社開発)
取扱品例	EC事業者様 専用センター



仙台北PDセンター

所在地	宮城県利府町
稼働日	2022年4月
延床面積	21,752 m ² (賃借倉庫)
取扱品例	ドラッグストア様 量販店様 他



葛西第2PDセンター

所在地	東京都江戸川区
稼働日	2022年5月
延床面積	19,923 m ² (賃借倉庫)
取扱品例	医療機器関連 食品関連 他



6. 本年度稼働の物流センター②

SENKO

2022年度

アクロストランスポート 札幌センター

所在地	北海道北広島市
稼働日	2022年7月
延床面積	13,197 m ² (賃借倉庫)
取扱品例	アパレルメーカー様



西関東物流センター

所在地	神奈川県綾瀬市
稼働日	2022年8月
延床面積	53,860 m ² (賃借倉庫)
取扱品例	ドラッグストア様 専用センター



西神戸第2PDセンター

所在地	兵庫県神戸市
稼働日	2022年12月
延床面積	18,275 m ² (賃借倉庫)
取扱品例	住宅設備機器メーカー様 他



京葉PDセンター

所在地	千葉県市原市
稼働日	2023年1月
延床面積	29,509 m ²
取扱品例	樹脂石化メーカー様 他



7. M&Aの推進



	会社名	事業内容	連結時期 (P/L)
物 流 事 業	Air Road	オーストラリア国内 貨物自動車運送事業/倉庫業	2021年10月～
	Air Planners	シンガポール拠点 国際航空・海上輸送	2022年7月～予定
商 事 ・ 貿 易 事 業	(株)カルタス	家庭紙卸売業	2022年4月～
ラ イ フ サ ポ ー ト 事 業	ダイヤクリーニング(株)	クリーニング事業 コインランドリー事業	2022年1月～
	(株)オージースポーツ	フィットネス事業	2022年10月～予定
ビ ジ ネ ス サ ポ ー ト 事 業	(株)セルフ・グロウ	外国人人材派遣事業 技能実習生の監理・研修事業	2022年1月～
	Kyoudou Project(株)	外国人人材派遣事業	2022年7月～予定

8. セグメント会計基準の変更について



◎社内外の経営管理を統一するため、2022年度より、セグメント会計基準を以下の通り変更いたします。

(旧)

各事業会社の業種別収支を3セグメントに分類集計

(億円)

	2022/3期実績		
	売上高	営業利益	%
物流事業	4,325.4	230.1	5.3%
商事・貿易事業	1,530.5	29.1	1.9%
その他事業	375.5	1.0	0.3%
調整額		△ 12.5	
合計	6,231.4	247.7	4.0%

※M & A 関連費用は各セグメントに計上

(例)

陸運会社における、整備事業収支はその他事業に計上、パレット製作・販売収支は商事・貿易事業に計上する等

(新)

各事業会社の収支を4セグメントのいずれかに

一本化して計上

(億円)

	2022/3期算定値		
	売上高	営業利益	%
物流事業	4,405.6	238.1	5.4%
商事・貿易事業	1,461.3	24.8	1.7%
ライフサポート事業	288.0	△ 6.8	△ 2.4%
ビジネスサポート事業	76.5	6.4	8.4%
調整額		△ 14.8	
合計	6,231.4	247.7	4.0%

※M & A 関連費用は共通費として調整額に計上

(新-旧)

(億円)

増減		
売上高	営業利益	PT
80.2	8.0	0.1
△ 69.2	△ 4.3	△ 0.2
△ 11.0	△ 1.4	
	△ 2.3	

※現在、経理システムの改修を行っており、新セグメント会計基準での

前年・当年の決算数値確定は、2023/3期・第1四半期決算発表からを予定しており
上表数値は概算値となります。

9. セグメント別業績予想の概要（1）

（1）物流事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

（億円，%，PT）

		2022/3期 （実績）	2023/3期 （計画）	前年同期比	
				増減	増減率
売上高	国内物流	3,216.9	3,362.5	145.6	4.5
	冷凍冷蔵物流	582.3	610.2	28.0	4.8
	国際物流	365.8	537.2	171.4	46.9
	海運	240.6	275.5	34.9	14.5
	計	4,405.6	4,785.4	379.8	8.6
営業利益		238.1	251.1	13.0	5.5
営業利益率		5.4	5.2	△ 0.2	

- （国内物流） センコー(株)など52社で構成
- （冷凍冷蔵物流） (株)ランテックなど4社で構成
- （国際物流） センコー・フォワーディング(株)など、国内外34社で構成
- （海運） 日本マリン(株)など12社で構成

▼主な増減要因

（億円）

	売上高	営業利益
売上拡大効果	281	34.6
M&A	114	6.7
料金・価格改定	10	9.9
コスト改善・生産性向上		8.8
ベア・人事制度改革影響		△ 15.2
燃料単価差影響		△ 8.7
経費復元		△ 6.7
備車（含む作業賃）コスト増加		△ 4.8
その他コスト増減		△ 8.0
既存物量増減他	△ 25	△ 3.6
計	380	13.0

10. セグメント別業績予想の概要 (2)

(2) 商事・貿易事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %, PT)

		2022/3期 (実績)	2023/3期 (計画)	前年同期比	
				増減	増減率
売上高	商事販売	455.4	496.7	41.3	9.1
	家庭紙卸	818.0	1,015.4	197.3	24.1
	貿易	187.9	200.0	12.1	6.4
	計	1,461.3	1,712.0	250.7	17.2
営業利益		24.8	26.6	1.8	7.3
営業利益率		1.7	1.6	△ 0.1	

- (商事販売) (株)スマイルなど12社で構成
- (家庭紙卸) アスト(株)など3社で構成
- (貿易) (株)SENKO International Trading1社で構成

▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	158	△ 1.0
既存物量増減	78	4.0
その他	15	△ 1.2
計	251	1.8

1 1. セグメント別業績予想の概要 (3)

(3) ライフサポート事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %, PT)

	2022/3期 (実績)	2023/3期 (計画)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	288.0	408.8	120.8	41.9
営業利益	△ 6.8	2.8	9.6	-
営業利益率	△ 2.4	0.7	3.1	

健康領域: (株) ビーナスなど3社、生活領域: 寺内(株)など4社、
食領域: (株) ライフイトなど3社、計10社で構成

▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	79	2.2
既存物量増減他	42	7.4
計	121	9.6

12. セグメント別業績予想の概要 (4)

(4) ビジネスサポート事業

※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %, PT)

	2022/3期 (実績)	2023/3期 (計画)	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	76.5	93.8	17.3	22.6
営業利益	6.4	5.1	△ 1.3	△ 20.3
営業利益率	8.4	5.4	△ 3.0	

不動産、情報、人材派遣など15社で構成

▼主な増減要因

(億円)

	売上高	営業利益
M&A	16	0.5
既存物量増減他	1	△ 1.8
計	17	△ 1.3

1 3. 2023年3月期 分野別売上高予想【通期】



※セグメント会計基準の変更を行っています。

(億円, %)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画)	前年同期比		前年同期比 内訳			
			増減額	増減率	売上 拡大	料金 改定	M&A	物量増減 他
食品物流	822	857	35	4.2	34		3	△ 2
チェーンストア物流	837	938	101	12.0	65	1	37	△ 2
ファッション物流	495	545	50	10.1	72	1	—	△ 23
その他物流	398	458	60	15.0	24		46	△ 11
流通ロジスティクス	2,552	2,797	245	9.6	195	2	86	△ 39
住宅物流	617	636	19	3.0	20	4	—	△ 5
ケミカル物流	848	921	73	8.6	42	3	20	9
その他物流等	388	431	43	11.1	25	1	8	9
物流事業	4,406	4,785	380	8.6	281	10	114	△ 26
商事・貿易事業	1,461	1,712	251	17.2	15	—	158	78
ライフサポート事業	288	409	121	22.6	—	—	78	42
ビジネスサポート事業	77	94	17	22.6	7	—	16	△ 6
合計	6,231	7,000	769	12.3	303	10	367	89

※上記に含む国際関係売上

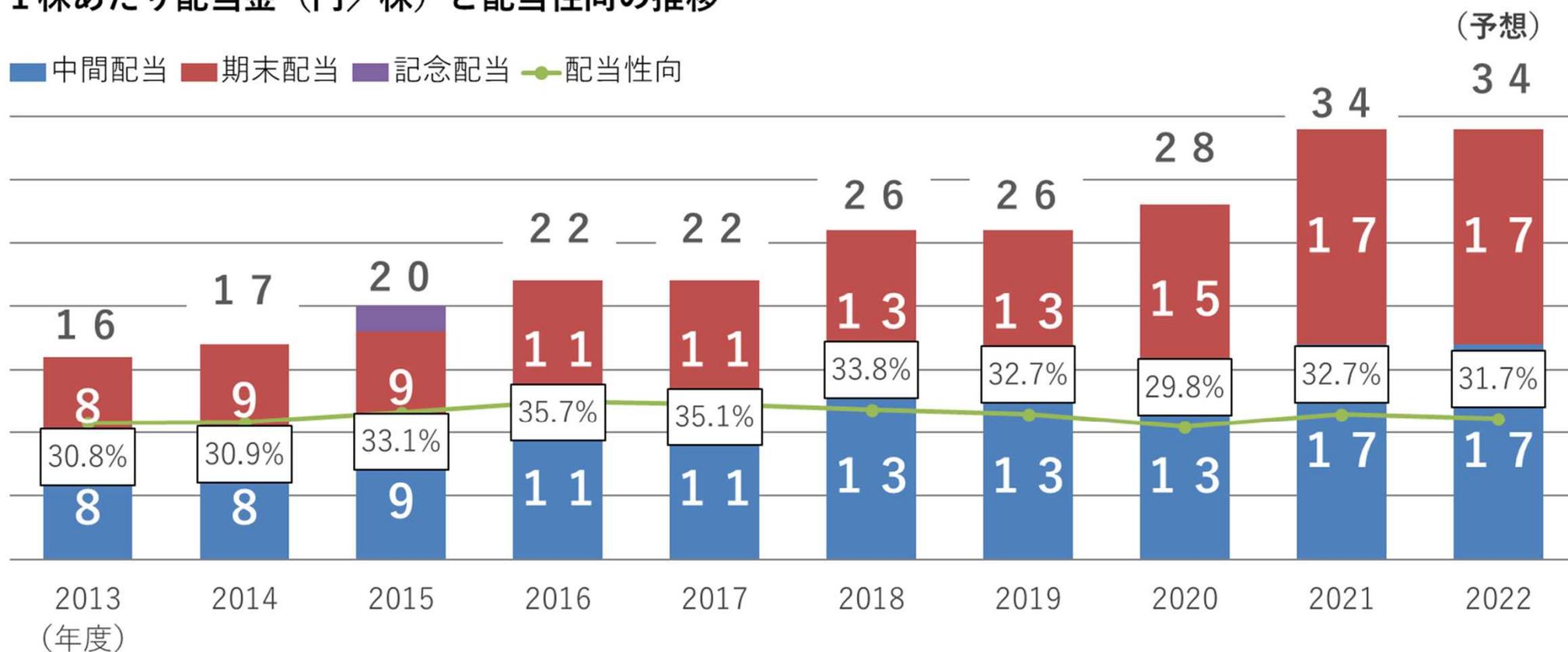
物流事業	436	600	165	37.8
商事・貿易事業	321	313	△ 8	△ 2.4
国際関係売上	756	913	157	20.8
売上高構成比 (%)	12.1%	13.0%		

※顧客ならびに新規連結会社の業容を再精査し、分類先を見直しております。

14. 配当金について



1株あたり配当金（円/株）と配当性向の推移



15. 2023年3月期の設備投資計画



① 設備投資計画

(百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (実績)	SIP21 5カ年計	2023年3月期 (計画)
連結	37,625	21,227	18,205	33,322	31,868	142,247	36,004

※設備保証金含む

■ 2023年3月期 設備投資額（計画）の内訳

(百万円)

	2023年3月期 一般設備投資額（計画）				
	車両関係	荷役機器・ その他生産設備	大型設備	非生産設備 (EDP関連他)	合計
連結	6,407	5,304	22,311	1,982	36,004

② 減価償却費

(百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画)
連結	12,439	14,334	15,565	17,419	19,817	21,304

第3部
新中期経営計画について

1. 前中期経営計画の振り返り①

[主要な中期経営目標]

		2017/3期	2022/3期		増減	
		①実績	②中計目標	③実績	③-①	③-②
売上高	億円	4,554	7,000	6,681	2,126 46.7%	△ 319
営業利益	億円	170.8	280.0	247.7	76.9 45.0%	△ 32.3
営業利益率	%	3.8	4.0	3.7	△ 0.1	△ 0.3
物流センター保管面積	万㎡	322	400	406	84	6
自社車両台数(ヘッド)	台	4,426	6,700	6,727	2,301	27
ROE	%	9.5	10.5	10.8	1.3	0.3
ネットD/Eレシオ	倍	0.58	0.64	0.95	0.37	0.31
自己資本比率	%	35.1	40.2	30.6	△ 4.5	△ 9.6

※2022/3期実績は、収益認識会計基準の適用前に戻した値。

2. 前中期経営計画の振り返り②

[セグメント別目標]

(億円,% ,PT)

		2017/3期	2022/3期		増減		
		①実績	②中計目標	③実績	③-①	増減率	③-②
物流 事業	売上高	3,180	4,550	4,368	1,189	37.4	△ 182
	営業利益	134.2	200.3	230.1	95.9	71.5	29.8
	営業利益率	4.2	4.4	5.3	1.1	—	0.9
商事 貿易 事業	売上高	1,329	1,850	1,927	598	45.0	77
	営業利益	32.1	48.0	29.1	△ 3.0	△ 9.5	△ 19.0
	営業利益率	2.4	2.6	1.5	△ 0.9	—	△ 1.1
その 他 事業	売上高	46	600	385	340	741.0	△ 215
	営業利益	8.7	34.7	1.0	△ 7.7	△ 88.6	△ 33.7
	営業利益率	19.0	5.8	0.3	△ 18.7	—	△ 5.5

※2022/3期実績は、収益認識会計基準の適用前に戻した値。

**2022年度～2026年度
中期経営計画について**

**事業の深化と創出を通じて、
人と社会に新しい価値を届け、
持続的な成長を目指す。**

2. 重点課題

1. 既存事業の拡大と深化
2. 成長事業の創出と育成
3. ESG + H（健康）経営への取り組み
4. グループ経営の高度化
5. 働きがいと個人の成長の実現

3 - 1. 全体数値目標



【収支計画】

(億円)

	2021年度 実績	2026年度 目標	増加額	増加率
売上高	6,231	10,000	3,769	60.5%
営業利益	248	450	203	81.8%
営業利益率	4.0%	4.5%	0.5PT	—

ROE	10.8%	10%以上
ネットD/Eレシオ	0.95倍	1倍未満

3 - 2. 全体数値目標

SENKO

【投資計画】

(億円)

物流・商業施設、車両・荷役設備等	2,000
戦略投資 (M&A、IT、環境)	900
計	2,900

【生産体制】

	2021年度 実績	2026年度 目標	増加
物流センター保管面積	406万㎡	500万㎡	94万㎡
自社車両台数 (ヘッド)	6,727台	10,000台	3,273台

4-1. セグメント別目標と重点施策



(1) 物流事業

(億円)

		2021年度 実績	2026年度 目標	増加額	増加率
売上高	国内物流	3,217	4,500	1,283	39.9%
	冷凍冷蔵物流	582	800	218	37.4%
	国際物流	366	700	334	91.4%
	海運	241	450	209	87.0%
	計	4,406	6,450	2,044	46.4%
営業利益		238	346	108	45.2%
営業利益率		5.4%	5.4%		—

4 - 2. セグメント別目標と重点施策

(国内物流) : センコー(株)など52社で構成

- 総合提案力と直営主体の安定力に基づく受注拡大
- 物流施設・車両体制の増強とM & Aの推進

(冷凍冷蔵物流) : (株)ランテックなど4社で構成

- 拠点整備の加速とフレッシュ便の更なる拡大

(国際物流) : センコー・フォワーディング(株)など、国内外34社で構成

- 拠点拡大によるグローバルネットワークの確立

(海運) : 日本マリン(株)など12社で構成

- 船腹増強によるシェアアップの推進

4-3. セグメント別目標と重点施策



(2) 商事・貿易事業

(億円)

		2021年度 実績	2026年度 目標	増加額	増加率
売上高	商事販売	455	600	145	31.8%
	家庭紙卸	818	1,100	282	34.5%
	貿易	188	250	62	33.0%
	計	1,461	1,950	489	33.4%
営業利益		25	38	14	54.4%
営業利益率		1.7%	2.0%	0.3PT	—

4-4. セグメント別目標と重点施策

(商事販売) : (株)スマイルなど12社で構成

● E C 販売の強化と独自商品の拡大

(家庭紙卸) : アスト(株)など3社で構成

● 卸 3 社の運営効率化とシェアアップの推進

(貿易) : (株)SENKO International Trading1社で構成

● 中国電子材料商社との合併運営による商権の維持・拡大

4-5. セグメント別目標と重点施策



(3) ライフサポート事業

(億円)

	2021年度 実績	2026年度 目標	増加額	増加率
売上高	288	800	512	177.8%
営業利益	△7	48	55	—
営業利益率	△2.4%	6.0%	8.4PT	—

(健康領域) : (株)ビーマスなど3社、生活領域:寺内(株)など4社、

(食領域) : (株)ライフイトなど3社、計10社で構成

●新型コロナウイルス感染症の落ち込みからの早期回復と出店拡大

●健康、生活、食領域におけるM&Aの推進

4-6. セグメント別目標と重点施策

(4) ビジネスサポート事業

(億円)

	2021年度 実績	2026年度 目標	増加額	増加率
売上高	77	300	224	292.2%
営業利益	6	26	19	298.4%
営業利益率	8.4%	8.5%	0.1PT	—

不動産、情報、人材派遣など15社で構成

- 新型コロナウイルス感染症の落ち込みからの早期回復
- 人材派遣業など、M & A の推進

4-7. セグメント別目標と重点施策

(5) その他事業

(億円)

	2021年度 実績	2026年度 目標	増加額	増加率
売上高		500	500	—
営業利益		20	20	—
営業利益率		4.0%	—	—

●新分野への参入

4-8. セグメント別目標と重点施策



(6) 分野別売上目標

(億円)

			2021年度	2026年度	増加額	増加率
物流事業	流通 ロジスティクス	食品物流	822	1,150	328	39.9%
		チェーンストア物流	837	1,250	413	49.3%
		ファッション物流 (EC物流含む)	495	650	155	31.4%
		その他物流	398	750	352	88.4%
		計	2,552	3,800	1,248	48.9%
	ケミカル物流		848	1,300	452	53.2%
	住宅物流		617	750	133	21.5%
	その他物流等		388	600	212	54.6%
	計		4,406	6,450	2,044	46.4%
	商事・貿易事業			1,461	1,950	489
ライフサポート事業			288	800	512	177.8%
ビジネスサポート事業			77	300	224	292.2%
その他事業				500	500	—
合計			6,231	10,000	3,769	60.5%

※上記に含む国際関係売上

国際関係 売上	物流事業	436	770	334	76.8%
	商事・貿易事業	321	430	110	34.2%
	計	756	1,200	444	58.7%

5. ESG・グループ経営の重点施策



【主要数値目標】

CO ₂ 排出原単位（陸運事業）	2020年度比10%削減
女性管理職比率	15%以上

- 自社環境対策やモーダルシフトの推進
- 多様な人材を活かせる制度改革と就業機会の拡大
- 自動化・省力化に向けた先端技術の導入
- スポーツ・文化活動を通じた健康経営の実践

6. 中期配当方針

当社は、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当の実施
ならびに配当性向の向上を目指す中で、株主還元の充実を
図ります。

会社勢力（2022年3月31日現在）



グループ会社数 (非連結18社含む)	物流事業	115 社
	商事・貿易事業	19 社
	ライフサポート事業	11 社
	ビジネスサポート事業	16 社
	合 計	161 社
グループ車両台数	(ヘッドのみ)	6,727 台
	(トレーラー含む)	8,248 台
所有船舶数	(社船)	40 隻
支配下船舶数	(社船含む)	69 隻
総保管面積	(雑倉庫等含む)	406 万m ²
グループ従業員数	(パート等除く)	20,725 人

SENKO

Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。